

十一月七日(土)に、造形おかざきっ子展、理科作品展、技術・家庭科作品展、そして岡崎のハーモニーの三つの行事に参加してきました。

おかざきっ子展では、一・二年生が「ゆめをうつすよ　みらいウェア」、三・四年生が「みらいの森」、五年生が「その後の鳥獣戯画」、六年生が「未来の EAST GARDEN」と、それぞれ異なるテーマに基づいた個性的な作品で会場を盛り上げていました。

理科作品展には四人の代表児童が出品し、夏休みの学習の成果を紹介しました。一方、技術・家庭科作品展では、五年生がティッシュケース、六年生がナップサックといった実用的な作品作りに取り組みました。いずれの作品も、技術の高さが光るものばかりでした。

また、岡崎のハーモニーには三人の六年生、さらに本校教諭の小林もピアノ伴奏で参加をし、発表会を盛り上げました。これらの行事は、いずれも長い歴史のあるものばかりで、保護者や学区にお住いの皆さんの中にも参加をされたことが多いことと思います。岡崎の伝統行事として、末永く続いてほしいと思っています。





十一月十日(火)からは、六年生と京都・奈良への修学旅行に出かけました。二日間で、三万七千歩歩いたと言えば、その充実ぶりはお分かりいただけるのではないかと思いますが、中身の濃い、楽しい修学旅行でした。急に冷え込みが強くなったせいか、この時期とは思えないほど空いていて、東大寺大仏殿の柱くぐりや音羽の滝(清水寺)の参拝もストレスフリーで体験できました。

また、今年は今までにない試みをしてきました。一つは班別研修です。二台の観光タクシーに分乗し、一つの班は銀閣寺へ、もう一つは伏見稲荷へ出かけました。わずか二時間足らずの研修ではありましたが、いつも一緒の本校児童にとっては、これも楽しい思い出になったのではないかと思います。もう一つは京都同志社小学校への訪問・交流です。校舎内の回廊、壁がないオープンな教室、校内にあるチャペルなど施設面はもちろんのこと、本校との多くの違いを楽しんできました。修学旅行において他県の小学生と川に入り、一緒にホタルの幼虫を探す経験など、なかなかできることではありません。歴史的建造物の見学、外国人との初めての会話などと並んで、いい思い出になることでしょう。




